

健健安第5996号
令和4年11月30日

市内医療機関の皆様

横浜市健康福祉局健康安全課

市内医療機関への新型コロナウイルス感染症抗原検査キット配送受付について(連絡)

日ごろから、横浜市の保健医療行政に御協力いただき厚く御礼申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症陽性者数が再び増加傾向に転じております。今後の患者急増に伴う医療機関ひっ迫を回避するための一つとして、市内の医療機関を対象に、新型コロナウイルス感染症抗原検査キットの配送希望を受け付けることといたしました。

(1) 申込受付期間

令和4年11月30日（水）～令和5年1月31日（火）（※）

※ 感染状況やお申し込みの状況によっては、改めてキットの配送について、お知らせいたします。

(2) 配送数

50キットまたは150キットのいずれか（1箱5キット入、シーメンス ヘルスケア製）

(3) 申込方法

以下のURLまたは2次元バーコードよりご入力ください。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/b356d0a8-e889-4070-b803-edd07e37cbd9/start>



※ 配送準備が整い次第、本市と契約している業者が配送します。

(4) その他

- ・今回の配布は、発熱外来以外の医療機関も対象とします。発熱外来のひっ迫緩和のため、重症化リスクが低い有症状患者への配布や患者家族への配布等、有効に活用ください。
- ・本配布による抗原検査キットの使用実績報告は、不要です。
- ・抗原検査キット受領後に、その在庫が僅かとなった場合には、再度お申込いただくことも可能です。

裏面あり

【別添資料】

- 資料1 医療機関へのキット配達概要
- 資料2 患者様配布用チラシ
- 資料3 横浜市医療機関における抗原検査キットの配布に関するQ&A

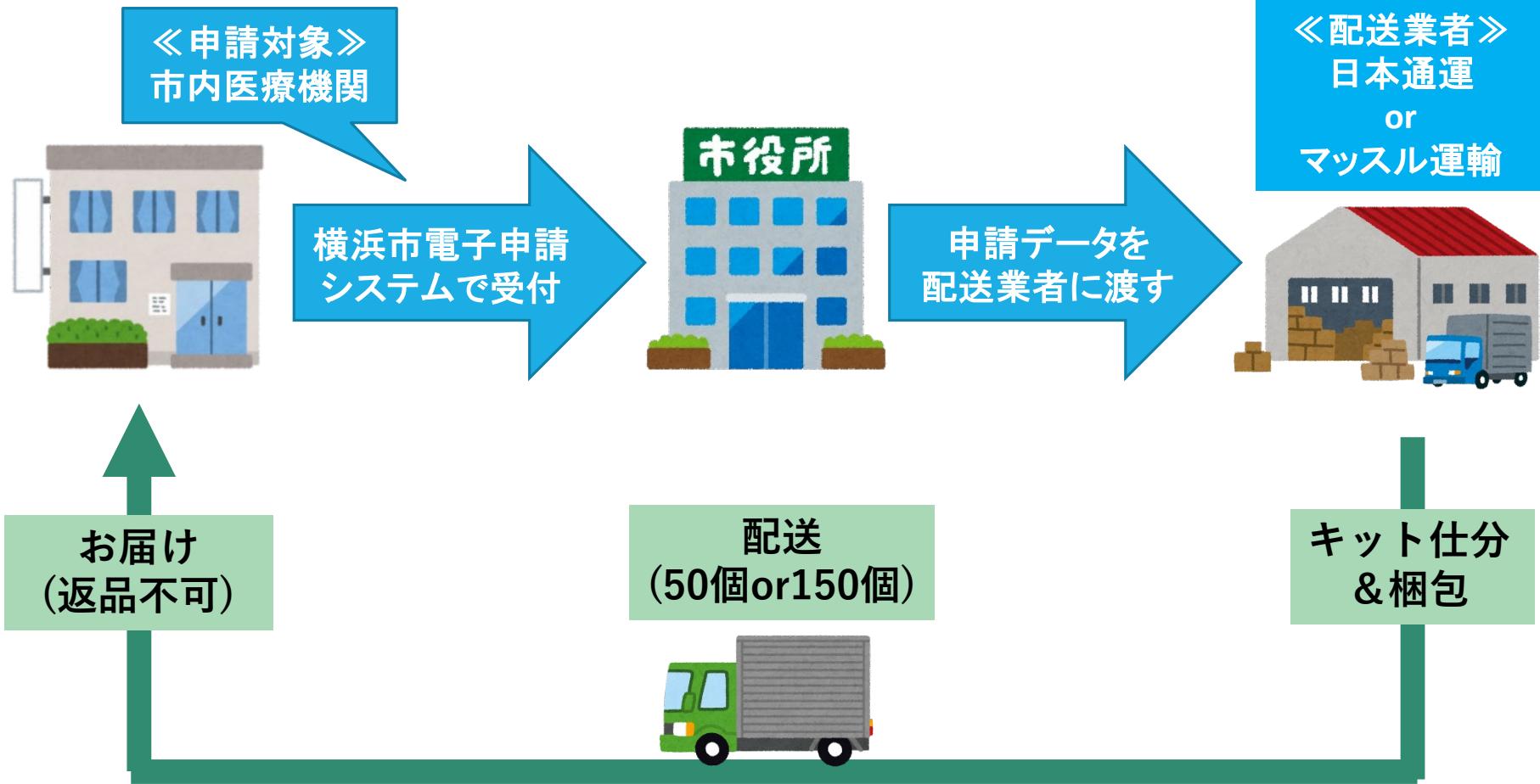
横浜市健康福祉局健康安全課

E-mail : kf-gyosei-kensa@city.yokohama.jp

電話 : 045-671-2445

医療機関へのキット配送概要

資料1



熱があるとき、どうしたらいいの？

資料2

次のいずれかに当てはまるものがありますか？

- (1) 65歳以上
- (2) 妊婦
- (3) 小学生以下のお子さま
- (4) 基礎疾患等の重症化リスク(※)がある方

※重症化リスクについては
特設サイトをご覧ください



ない
↓
検査キットで自己検査

陰性だったら

自宅等で療養

受診を希望される場合には、
電話診療・オンライン診療の
活用や、かかりつけ医の受診
もご検討ください。

ある
↓
医療機関を受診

事前に
連絡！

医療機関検索



陽性だったら

医療機関でどちらのチラシをもらいましたか？



神奈川県・横浜市から
連絡があります

「陽性者登録窓口」に登録をお願いします

登録は
こちら



・症状が悪化した場合の相談先（「コロナ119」）の
電話番号をお知らせします。



ご自宅での療養のポイント

- ① 部屋を分ける
- ② 窓を開けて換気
- ③ マスクを着用
- ④ こまめな手洗い、手で触れる部分を消毒
- ⑤ 汚れたリネン・洋服を洗濯
- ⑥ ゴミは密閉して捨てる

療養期間について

- 発症日（初めに発熱など症状が出た日）の翌日から7日間、かつ症状軽快後（解熱剤の服用や37.5℃以上の発熱等の症状がないこと等）24時間経過するまでが療養期間です。療養期間中は仕事や学校、不要不急の外出はお控えください。
- 10日間が経過するまでは、感染リスクが残存することから、自主的な感染予防行動をお願いします。
 - ☑ 検温など自身による健康状態の確認
 - ☑ 高齢者等ハイリスク者との接触を避ける
 - ☑ ハイリスク施設への不要不急の訪問を避ける
 - ☑ 感染リスクの高い場所の利用や会食等を避ける
 - ☑ マスクを着用する など

クリニテスト COVID-19 抗原迅速テスト 使用方法

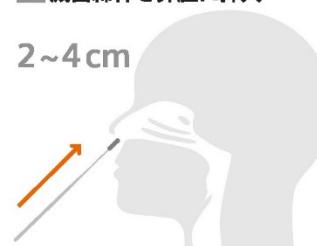


つながるを、止めない。(専用WEBサイト)
使用方法の動画をご覧いただけます。



1 減菌綿棒を鼻腔に挿入

2~4 cm



キット同梱の減菌綿棒を使用し、片方の鼻腔に慎重に挿入します。抵抗を感じる場合は、それ以上挿入しないでください。

2 両方の鼻腔から検体を採取

5 times



5 times



もう一方の鼻腔についても同じ減菌綿棒を用いてこの手順を繰り返し、両方の鼻腔から十分に検体を採取します。

鼻腔から減菌綿棒を引き出し、検体の前処理に進みます。

4 検体を緩衝液に浸す(検体の前処理)



6 times

1 min

抽出チューブに減菌綿棒を入れ、減菌綿棒の先端を抽出チューブの底と側部に押し当てながら、6回以上回し、減菌綿棒を入れたまま1分間待ちます。

5 キャップ取り付け



抽出チューブ用キャップの広い部分を抽出チューブに取り付け、隙間がないことを確認します。

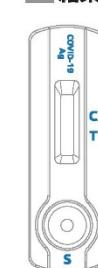
6 測定検体溶液を滴下



4 drops

測定カセット袋から測定カセットを取り出し、水平になる場所に置きます。抽出チューブを垂直に持ち、測定検体の溶液を4滴(およそ100 μL)測定カセットに加えます。

7 結果確認



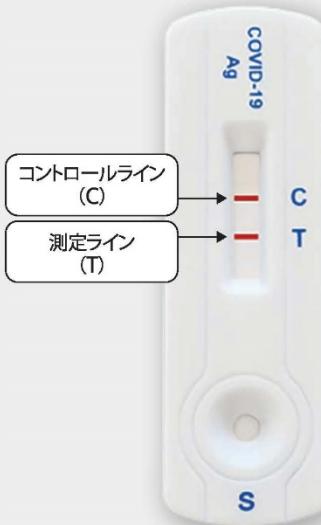
15 min

15分経過後、結果を確認します。

SIEMENS Healthineers

クリニテスト COVID-19 抗原迅速テスト

測定結果の判定方法



陽性

コントロールライン(C)と測定ライン(T)が2本とも現れた場合、結果は陽性です。

陰性

コントロールライン(C)のみ現れた場合、結果は陰性です。

無効

測定後コントロールライン(C)が現れない場合、結果は無効です。*

各ラインの表示について

Q: Cのラインが薄い

A: 色が薄くてもラインが現れた場合は、操作が正しく行われたことを示します。

Q: Tのラインが薄い

A: 色が薄くてもラインが現れた場合は陽性とみなす必要があります。本品は定性測定のため、検体の濃度を評価することはできません。確定診断には臨床症状やPCR等、他の検査結果と合わせて医師が総合的に判断してください。

測定結果の判定のほか、
基本的事項、操作方法についてのQ&Aは[こちら](#)



*無効となった原因として、検体採取及び操作手順が適切でなかったこと、または測定カセットの期限切れにより劣化していることが考えられます。新しい測定カセットにて再測定を実施ください。

重要な基本的注意

- 本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2感染を否定するものではありません。
- 検査に用いる検体については、厚生労働省より公表されている「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針」を参照してください。
- 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
- 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べ検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
- 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。



SARSコロナウイルス抗原キット
クリニテスト COVID-19 抗原迅速テスト

体外診断用医薬品
承認番号:30400EZX00015000

資料3

横浜市 医療機関における抗原検査キットの配布に関する Q&A

- Q1 キットを配布する目的は何か。
- Q2 配付されるキットはどのようなものか。
- Q3 配付された検査キットはどのように活用すればよいか。
- Q4 申請方法を教えて欲しい。
- Q5 配付申請できるのは発熱外来のみか。
- Q6 申請回数の上限はあるか。
- Q7 申請から何日くらいでキットが届くのか。
- Q8 キットを配布する際に必要な対応はあるか。
- Q9 キットの配布数の管理や報告は必要か。
- Q10 キットを配布した個人を特定しておく必要はあるか。
- Q11 患者一人に対して、キットを何個渡してもよいか。
- Q12 配付されたキットが余った場合は、返品できるのか。
- Q13 キットを配布することで、市から医療機関に手数料等は支払われるか。

Q1 キットを配布する目的は何か。

A 新型コロナやインフルエンザの流行拡大により、発熱外来をはじめとする各医療機関に多くの患者が受診を希望することで診療のひっ迫を招き、結果として、真に必要な患者の診療に影響を及ぼす危険性が高まります。

こうした状況を緩和するために、医療機関の受診を希望する発熱者等のうち、軽症かつ重症化リスクが少ないと思われる方については、まずは検査キットによりセルフ検査を行っていただけるようにするものです。

Q2 配付されるキットはどのようなものか。

A シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社製
クリニテスト COVID-19 抗原迅速テスト（体外診断用医薬品）
1箱5テスト入り となります。
10箱(50テスト)もしくは30箱(150テスト)をお届けします。



シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社ホームページより引用

Q3 配付された検査キットはどのように活用すればよいか。

A 基本的には、医療機関の受診を希望する発熱者の中、軽症かつ重症化リスクが少ないと思われる方に検査キットをお渡しいただき、自宅でセルフ検査をしていただくことを想定しています。

また、発熱者と同居する家族など、濃厚接触の可能性がある方も検査ができるように、希望に応じて必要数をお渡しいただくことも差支えありません。

医療機関のひっ迫緩和のためにご活用いただければと思います。

Q4 申請方法を教えて欲しい。

A 横浜市電子申請システムにてご申請ください。
(URLは依頼文に記載のとおり)

Q5 配付申請できるのは発熱外来のみか。

A 夏に実施した医療機関へのキット配達と違い、今回は市内すべての医療機関が配布対象です。(Q1の目的のとおり、発熱外来以外の医療機関の皆様も本キットを是非ご活用ください。)

Q6 申請回数の上限はあるか。

A 申請回数の上限はございません。配布したキットの在庫が僅かとなった場合には、再度お申込みいただくことも可能です。

Q7 申請から何日くらいでキットが届くのか。

A 申請からおおよそ1～2週間で届くとお考え下さい。ただし、申請数や物流状況により、さらにお時間いただく場合もございます。なお、配送する業者は日本通運株式会社もしくはマッスル運輸サービス株式会社のどちらかです。

Q8 キットを配布する際に必要な対応はあるか。

A 患者様にキットをお渡しする際は、別添のチラシのお渡しをお願いできればと思います。(もしくは患者様にキットの使い方及び陽性時の対応にかかるご案内をしていただければと思います。)

Q9 キットの配布数の管理や報告は必要か。

A 必要ございません。

Q10 キットを配布した個人を特定しておく必要はあるか。

A キット配布時に個人を特定(保険証の確認等)する必要はありません。

Q11 患者一人に対して、キットを何個渡してもよいか。

A 患者お一人様最大2個までお渡しいただいて構いません。

Q12 配付されたキットが余った場合は、返品できるのか。

A キットの返品はできません。引き続き、ひつ迫緩和のために有効にご活用いただければと思います。

Q13 キットを配布することで、市から医療機関に手数料等は支払われるか。

A 手数料等のお支払いはありません。